

現地での取組

参加型森林管理

森林の利用・管理に対して地域住民が主体的に参加するものです。地域住民の生活を向上させながら、地域の特色に応じた持続可能な森林経営が行われることが期待されています。



村の女性達が参加した採種活動(トーゴ) 写真提供:ITTO

アグロフォレストリー

森林の管理と農作物や家畜の育成を組み合わせた土地利用方法です。木材が伐採できるようになるまで長い年月のかかる森林を育てるだけでは、人々の暮らしが成り立たないため、短期間で収入を得られる農作物の栽培などを組み合わせています。



禁猟の目印をつける人。一定期間、ある地域内での猟を禁じることで動物の個体数を維持するために伝統的に行われている(インドネシア)
写真提供:笹岡正俊氏



ゴムのプランテーションの中でゴマを栽培するアグロフォレストリー(タイ)
写真提供:独立行政法人 森林総合研究所

伝統的知識の活用

森林に依存して生活する先住民などが森林に関してつちかっしてきた知恵の中には、持続可能な森林経営の考え方が生きていることがあります。これらを活用していくことも重要です。

持続可能な森林経営

森林の恵みを将来にわたって保っていけるような方法で、森林を守り育て、活用すること。

森林保護地域の設定

貴重な生態系が残っている森林を保護するため、伐採を制限するなどの管理を行う地域が設定されています。現在、世界の森林面積の約12%が保護地域に設定されています。野生生物が移動できるように、保護地域と保護地域を結ぶ森林を守る試みも行われています。

図7. 保護地域に設定されている森林



出典:「世界森林白書(2001年報告)」(FAO協会,2002年)